

第 17 回議会報告会報告書

令和 4 年 1 月
広聴広報委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第17回目の開催となった。

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症が懸念される中、安全対策を重視しオンライン開催に踏み切ることとした。コロナ禍においてもCM動画を作成してのPRや若い世代の参加促進など、感染症拡大防止に配慮しつつ市民との繋がりを大切にし、市民の意見を聞く貴重な場としての役割を担うべく取り組んできた。

また、意見交換会については、3常任委員会の研究テーマに基づき、関係団体も含めた市民を対象とすることで、専門的知見も交えた意見交換ができ、情報共有の場としてもよい機会となった。さらに、意見交換会に参加できない市民にも配慮し、各常任委員会でアンケートを作成しより多くの意見を聴取することができたと思われる。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

はじめに	1
1 第17回議会報告会実施概要	2
2 主な意見及び要望	6
3 考察	26
4 資料	27

1 第17回議会報告会実施概要

実施体制について

- 新型コロナウイルス感染症対策とし、Web 会議システム「Zoom」を使用し実施した。

広報活動について

- 市議会 Facebook による周知
- 市の公式ホームページによる周知
- 市の Youtube による周知
- 各議員による周知

内容について

全体の構成について

- 議会報告会の内容は、2 部構成で実施した。
- 市議会ホームページ上に、「第 17 回議会報告会及び意見交換会ページ」を作成。このページに議会報告、意見交換のコンテンツを掲載した。
- 第 1 部の議会報告は、議会報告動画を作成し、YouTube にアップロードした。
- 第 2 部の意見交換は、CM 動画を撮影し、Youtube にアップロードするとともに、市議会ホームページにアンケートページを作成した。

第1部 議会報告会

○広聴広報委員会で報告動画を撮影し、Youtubeでの動画配信とした。

議会報告動画再生回数

1月31日時点

動画名	担当議員	再生回数
議長挨拶	松田寛人	209
委員長挨拶	中里康寛	84
令和3年6月定例会議報告	益子、森本、林	126
令和3年8月臨時会議報告	中里康寛	55
令和3年9月定例会議報告	齊藤、星、山形、益子	101
合計		575

第2部 意見交換会

○各常任委員会において、活動テーマに沿った内容で、関係する団体や一般市民を対象に意見交換会を実施。

○参加できない人向けに、テーマごとのアンケートを作成し市議会ホームページに掲載した。

意見交換会 CM 動画再生回数

1月31日時点

動画名	担当議員	再生回数
総務企画常任委員会意見交換会 CM	山形、中里、星	145
福祉教育常任委員会意見交換会 CM	森本、林	115
建設経済常任委員会意見交換会 CM	益子、齊藤	316
合計		576

アンケート回答数

テーマ	回答数
那須塩原駅周辺のまちづくりについて	10
学校教育のあり方	9
貧困問題について	22
空き家・空き地について	9
農業の担い手を育成・増加するために	5
合計	55

総務企画常任委員会（第1班）

開催日時	令和3年11月5日（金）午後6時30分～午後8時30分
参加人数	14人（男性12人 女性2人）
意見交換テーマ	那須塩原駅周辺のまちづくり

開催日時	令和3年11月24日（水）午前10時30分～正午
参加人数	15人（男性8人 女性7人）
意見交換テーマ	那須塩原駅周辺のまちづくり

担当議員	山形 紀弘【委員長】	中里 康寛【副委員長】	鈴木 秀信
	星 宏子	相馬 剛	鈴木 伸彦
	中村 芳隆	山本 はるひ	玉野 宏

福祉教育常任委員会（第2班）

開催日時	令和3年11月20日（土）午前10時00分～正午
参加人数	6人（男性3人 女性3人）
意見交換テーマ	学校教育のあり方

開催日時	令和3年11月20日（土）午後1時30分～午後3時30分
参加人数	11人（男性9人 女性2人）
意見交換テーマ	貧困支援について

担当議員	森本 彰伸【委員長】	星野 健二【副委員長】	三本木 直人
	林 美幸	小島 耕一	佐藤 一則
	大野 恭男	齋藤 寿一	金子 哲也

建設経済常任委員会（第3班）

開催日時	令和3年11月4日（木）午後2時00分～午後4時00分
参加人数	32人（男性15人 女性17人）
意見交換テーマ	空き家の有効活用

開催日時	令和3年11月12日（金）午後1時30分～午後3時30分
参加人数	19人（男性15人 女性4人）
意見交換テーマ	農業の担い手を育成・増加するために

担当議員	田村 正宏【委員長】	益子 丈弘【副委員長】	堤 正明
	齊藤 誠之	平山 武	松田 寛人
	眞壁 俊郎		

参加者数

○3常任委員会で合計 97名となった。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62

	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回
開催年月	H30.5	H30.11	R元.6	R元.11	R2.2	R2.7.17~9.30	R2.11	R3.11
参加者数	66	78	23	70	152	※72	29	97

※アンケート回答数

2 主な意見及び要望

1 班 テーマ「那須塩原駅周辺のまちづくりについて」一般の部

○駅のイメージについて

- ・ 西口は開けているが、何もない。東口はシャッター通り。寂しい。
- ・ 駅を降りると淋しい。わくわくするようなモニュメントがあるとよい。
- ・ 西口に観光地を感じない。
- ・ 駐車場が分散されている。多い。
- ・ 印象に欠ける。
- ・ 40年間あまり変化がない。
- ・ 住宅が増えた。
- ・ 地域の象徴として何もない。
- ・ 住民との関わりが少ない。
- ・ 西口の土地の値段が高騰している。
- ・ 新庁舎に期待している。
- ・ 空気がキレイ。
- ・ 那須連山の景色が素晴らしい。
- ・ お洒落なお店がない。
- ・ 高校生が気軽に休める場所がない。
- ・ 西口から東口のアクセスが悪い。
- ・ 車がないと不便。
- ・ 歩道が狭い。
- ・ 人の流れがない。
- ・ 若い人が集まる環境がないので発展しない。
- ・ バスタクシーの乗り継ぎが悪い。

1. 課題は何か

- ・ 市の目指す方向がはっきりしていない。中途半端で戦略が見えない。
- ・ 庁舎を駅前にもってきた意図も分からない。
- ・ 観光なのか市民の利便性なのか。
- ・ 観光や移住者に的を絞れたら。
- ・ 都会の方は癒しを求め、住民は発展を目指したいという視点がある。個人的には都会から移住しやすいという点がいい。

2. 那須塩原駅がモデルとすべき駅はあるか

- ・ 熱海駅前のにぎわい。
- ・ 金沢駅はコンセプトがしっかりしている。(バスロータリーの造りなど)
- ・ わくわく感は黒磯駅の方があがる。

3. 駅周辺の定義（どの辺までをイメージ）

- ・ 西口は足銀、東口は国道4号線まで。

- ・ 15 分で歩いて行ける範囲。
 - ・ （青木の道の駅やアグリパルと聞いて）車社会だからかな、考え方としては範囲を絞った方がよい。
4. 那須塩原周辺とはどの辺まで（イメージ）
- ・ アウトレットまでが周辺。
 - ・ 足銀の交差点まで東口は国道まで。
 - ・ 足銀の交差点まで東口は国道まで、東西はビッグと国体道路まで。
 - ・ アウトレットまで。
5. 駅の西側の現状について
- ・ アウトレットやビッグがある。アウトレットは観光客が多いので、観光客を駅まで巻き込むことが課題。
 - ・ 他県の人が駅はさみしいと言っている。駐車場が多く観光客を迎えるようになっていない。
 - ・ 商業店舗がない。観光客が寂しがっている。
 - ・ 駅周辺は寂しい。何かが欲しい。
6. 駐車場についてはどう思うか
- ・ 駐車場が多い。
 - ・ 駐車場しか活用方法がないように感じる。
7. 東口の現状について
- ・ 東口は行ったことがないから分からない。ピンとこない。
 - ・ まちづくりの観点から手つかずの状態。（昭和のまま）
 - ・ 大胆な改革がないと変わらない。
 - ・ 昔のままで、かなり寂しい。
8. 駅周辺の現状の賑わいについて
- ・ 通勤通学者しか使わないので、賑わいはないと感じる。
 - ・ 駐車場だらけでは賑わいようがない。
 - ・ 商業ビルなどが無いと賑わいはない。
 - ・ イベントがあると賑わうが、その時以外賑わいはない。
9. 駅前の景観について
- ・ 駐車場ばかりであるが、山が見えてきれいな眺めなので、駐車場だけではもったいない。
 - ・ 寂しい景観。
 - ・ 駐車場だけだが、那須山の景観はよい。
 - ・ 山を見ると落ち着くので、景観は保持すべき。
10. 高さ制限について（開発が遅れている現状は）
- ・ 制限はあるべき。
 - ・ 緑のイメージで開発が望ましい。景観の活かし方があると思う。
 - ・ 山の風景は守るべき。
 - ・ 建物は高くしないで、横に広げればよいと思う。

11. 他の新幹線駅との比較について

- ・ 小山と新白河が比較の対象になる。
- ・ 駅の周辺に大きい建物が立っているだけでと感じる。那須の風景を活かした開発が必要。
- ・ 軽井沢を真似すべき。
- ・ 分からないが、山の風景は守るべき。

12. 駅周辺の産業面について

- ・ 飲食店が少ない。観光客が入りたいと思う店がない。
- ・ 駅周辺は産業だけではなく、ベッドタウン的な意味もある。
- ・ 飲食店が少ない。
- ・ 飲食店がないと、時間をつぶせないし、魅力がない。

13. 駅周辺について、住環境としてはどうか

- ・ 非常にいい。通勤通学者が多いと聞いている。都内の半分以下で家が建つと聞いている。
- ・ 住みやすい地域（西口）と感じている。

14. 現状について（自由）

- ・ 東口について、25年前に再開発の話が合った。その時に、地元が反対して流れた。その経緯を踏まえて、東口の開発は難しいと感じている。

○那須塩原駅周辺の今後について

- ・ 不満や不便は感じていない。エール那須塩原「夢が動き出す」は人に焦点を当てている。そこに注力すべき。
- ・ 駅前で365日イベントをやるべき。
- ・ コロナ前はマルシェなどやっていた。天候に左右されないで立ち寄れるシステム作りがあれば。
- ・ 那須塩原単体よりも周りの地域と連携して発展する方向がよい。
- ・ 今の駅前はいる必要がない。立ち寄りたくなるような動線をしっかり考える。
- ・ 子どもたちが自分たちで行動できるような駅前交通網があれば。
- ・ 那須地域版のアンテナショップがあったらよい。
- ・ 駅前がどよーんとしている。道路のひび、レンガの汚れ、看板の整備。
- ・ 景観をよくしてほしい。広くしてほしい。
- ・ クリテリウムに特化したものがあればよい。
- ・ ロータリーをもう一つ作る。
- ・ 民間の考えや送迎の考えを入れて欲しい。
- ・ 駐車場を探すのに時間がとられるので集約して欲しい。
- ・ 西口のイルミネーションをもっと大々的に。
- ・ バス路線の改革をして欲しい。
- ・ 365日何回かのイベントをしてほしい。

- ・ 東口と西口のアクセスをよくする。
 - ・ 東口は道を広げて歩道をつけてほしい。
 - ・ 東口が自動車道を整備して欲しい。
 - ・ 東口から大田原へつながる道を。
 - ・ チャレンジショップを駅に作るような計画を。
 - ・ 働く人を増やす駅前に商売ができるスペースが欲しい。
 - ・ 駅からアウトレットの間にまちを作る。
 - ・ 美術館や図書館が欲しい。(文化的施設は必要)
 - ・ 駅に来たら周辺観光地で全てわかるようにしてほしい。
 - ・ 足湯が欲しい。
 - ・ 共和大学を市役所にする。
1. 駐車場だらけの現状を今後どうするべきか
 - ・ 店舗を建てると税制面で優遇されるとかあると良いのではないか。
 - ・ 駐車場があつた数が必要なのか。税制面で駐車場にせざるを得ないのか。助成金や補助金などで事業をやりたい人に支援できる何かが必要。
 - ・ 大きなビジョンが必要。逆に何もなければビジョンを描ける。
 - ・ 駐車場として使いたいところは駐車場として使う。そうじゃないところは何か手を加えるべき。
 2. 那須の景観を活かしながらの再開発はどうすればよいか
 - ・ 景観条例は今後もあり続けるべき。今後、ビジネス客向けに進むのか、観光客向けにすすむのかによってまちづくりのビジョンは変わる。
 - ・ 大手資本が集まって、人が集まるのは、通り一遍でつまらない。他の地域と差別化を図り、再開発を考えるべき。
 - ・ どこが着地点なのか考えるべき。ビジネス客も観光客も大切なので大変難しい問題だ。
 3. 商業店舗、特に飲食店を増やすためにはどうすればいいのか
 - ・ 市で土地を買って店舗を建てて、テナントにして、補助や助成も含めて考えるべき。
 - ・ 市で土地を買って店舗を建てては難しいと思うが、市は事業をやる人に補助金などの支援をすれば増えるのではないか。
 - ・ 箱物を造ると維持管理が大変なので、事業をやりたい人と箱物を建てた人との橋渡しを行政がすれば安心感があり、事業者もやりやすいのではないか。
 4. 東口について、大胆な改革とはなにか
 - ・ 区画整理をして、現在住んでいる人には別の所に移ってもらい、再開発を進める。東口はビルを建てテナントと住む人のために再開発、西口は観光客向けに再開発する。東西で分けて考える。
 5. サテライトオフィスについて、どう考えているか
 - ・ 東口はビル街にして、西口は観光客向けにと考えれば可能である。
 - ・ サテライトオフィスが成功している前提をまずは考えるべき。

- ・ 駅周辺は緑がメインで考えればサテライトオフィスも来ると思う。
 - ・ 家賃が安い等のメリットが必要。また、景観や飲食店など複合的に考えないとサテライトオフィスは来ないと思う。
6. 今後の再開発について
- ・ 建物が先。大手の資本を入れることが必要。
 - ・ 建物が無いと動かないが、やみくもに作ってもどうなのか。難しいところだ。
 - ・ 建物とイベントも同時進行がよい。人を集めるには飲食店等店舗も必要だ。
 - ・ イベントが人・建物が器と考えると、コンセプトを先に考えるべき。この地域をどうするべきかを考え、それに必要な建物やイベントを考えるべき。
7. 西口の区画整理地内のビジョンについて
- ・ 低層階は緑がたくさんあって、高層階は那須山が見えた方がよい。
 - ・ 大通りに面したところは、低層階で再開発。大手資本は、離れたところで開発すべき。
 - ・ 人が歩きたくなる街並みづくりをすべき。
8. 東口をビジネス的な活用すべきという意見について、地元を説得するためにはどうすべきか
- ・ 丸亀市の手法は有効である。
9. 今後について（自由）
- ・ 西口の区画整理のビジョン、緑を活かした街並みは有効。人が歩きたくなる街並みづくりが必要。
10. 丸亀市の手法で説得できるか
- ・ とにかく説得するしかない。

1 班 テーマ「那須塩原駅周辺のまちづくりについて」

宇都宮共和大学の部

○現状分析

1. 那須塩原周辺のイメージは
- ・ 駅周辺に公民館などがあり、コミュニティが存在する。
 - ・ アウトレットや地域素材を活かしたイベントがある。
 - ・ 駅前が広くきれいである。
 - ・ 遠くに山並みが見え、景観が美しい。
 - ・ 時間を潰せる場所がない。
 - ・ 西口のファミマ交差点に向かい合ってドラッグストアがあるのが不思議。
 - ・ ビッグのフードコートがなくなり、交流する場が少なくなっている。
 - ・ 娯楽施設や夜遅くまでやっているお店がない。

- ・ 那須塩原だったらこれというものがあればよい。
 - ・ 駐車場が多い。
 - ・ 景観を重視している。
 - ・ インパクトに欠ける。
 - ・ 歩道が狭く安心感がない。
 - ・ お金を使う場所がない。
 - ・ 車がないとどこにも行けない。
 - ・ 待合場所が少ない。
 - ・ 楽しめる場所がない。
 - ・ バスの本数が少ない。
 - ・ 巻狩鍋が飾っているが活用されていない。
 - ・ 風景が素晴らしい。
 - ・ 山が多い。
 - ・ 第一印象として寂しい。お店が無く空間が多い。
 - ・ 自然が豊かで落ち着いた感じ。
 - ・ 観光地へ向かうための通過点。(地元の学生)
 - ・ 那須塩原駅は大きい駅だなと思った。
 - ・ 駐車場が多い。観光客からはバス停が分かりづらいと言われる。(地元の学生)
 - ・ 観光スポット(那須)への通過点という役割。
2. 駅周辺の現状の賑わいについて
- ・ 黒磯駅と比べて、那須塩原駅は開発が遅れている。
 - ・ 利用客が1800人なので割と多いなと感じているが、ショッピング施設が近くにないので賑わいに欠けている。賑わいのない観光地と印象付けられる。
3. 駅前の景観について
- ・ 高さ制限があるのは良いと思う。山が良く見えて宇都宮にはない那須塩原の良いところなので。
 - ・ 大学通りの両脇に木が植栽されていて、とてもきれいだが、若者が集まる地域で考えると、飲食店などの施設がないので、子育てしている方が集まるとか、こういうところもある必要がある。
4. 産業の状況について
- ・ 駅前は観光客をターゲットにしたものがない。観光地らしさがない。住宅が多く、産業地としては活用しきれていないと思う。駅前に日常的に使うショッピング施設がない。
 - ・ 若者向けに展開しているスタバなどがない。駅に看板が茶色の条例を活かして統一されているので。

○那須塩原駅周辺の今後について

1. 魅力度をアップするには
 - ・ 観光客や地元の人が交流できる場所がほしい。
 - ・ 交通アクセスが観光客や外国人にも分かるような案内図や標示板がほしい。
 - ・ 帰りにちょっと寄れるようなお店や横丁などがあればよい。タクシーや代行なども充実させたい。
2. イベントを起爆剤として交流できるもの
 - ・ ドライブスルー形式のイベントやドライブインシアターなど。
 - ・ 栃木の地酒を試飲できるテイクアウトのお店。
 - ・ 生乳生産本州一を活かした地元生産品のイベント。
3. 滞在時間を延ばせるもの
 - ・ 駅ナカかデパート。日用品と地元の土産品。
4. 県北までの範囲で考えると
 - ・ 周辺市町のアンテナショップ。
 - ・ 駅前でのお祭り、イベントを SNS で発信する。
 - ・ 大きなアミューズメント施設を駅に開設し、e スポーツを開催。
 - ・ 大きい広場を作る。
 - ・ 立体駐車場を作って欲しい。
 - ・ 生乳本州一のランドマーク（シンボル）を作る。
 - ・ ベンチを設置する。
 - ・ 人通りを増やすイベントを実施する。
 - ・ 新幹線高架下の活用。
 - ・ 映画鑑賞ができるドライブシアターを高架下で実施。
 - ・ 高架下に商店街を作る。
 - ・ 駅前に温泉施設を作る。
 - ・ 牛と触れ合う場所を作る。
 - ・ 周りの景観に合わせてホテルを誘致。
 - ・ 平家の施設に統一させる。
 - ・ ホテルログハウス民宿の宿泊施設を作る。
 - ・ ドライブスルーのお店を作る。
 - ・ レンガ作りの建物を作り、駅舎に合わせる。
 - ・ 冬場はイルミネーションをやる。
 - ・ 駅前マルシェをやる。
5. 駅周辺に必要なものとは
 - ・ 若者や子育て世代の行動範囲は広がっている。駅前に飲食店の他、体験ができる場所があると子育て世代が生きやすいと思う。また、駅前は景観を活かしたほうが良い。
 - ・ 飲食店は必要。スタバやマクドなどは入りやすい。ご当地グルメなどのお店も混在しているといいと思う。大阪では昔ながらのお店とマクドが共存している商店街があって、とてもよかった。

- ・ マクドやスタバの利点は、早朝から営業しているから、気軽に利用して時間をつぶせる。
 - ・ 足湯など温泉があるといいかも。電車の待ち時間とかに利用できると思う。温泉に寄りたいが時間がない場合に便利。
 - ・ 地元の若者が事業するための店舗スペースを設けるといいかも。新庁舎も予定されているので、人の流れなども考えて。
6. 今後のどういう市役所が良いと思うか
- ・ コンクリートは無機質な感じなので、木造がいい。
 - ・ 市役所に用事が無くても、利用しやすい市役所がいいと思う。住居施設やテナントなどから家賃をいただき経費を削減すべき。
7. 景観について、観光を重視するか、産業を重視するか、住環境を重視するのか
- ・ 景観を重視する。大学通りから離れたところは高い建物を建てられれば、景観と産業が両立できる。
 - ・ 全部両立させるべき。宇都宮駅のように西口と東口でコンセプトを分けて考えるべき。
 - ・ 観光と住環境を両立できると思う。スーパーを誘致するなど。
8. 自由意見
- ・ 駐車場を平面ではなく、立体駐車場にはできないのか。

2 班 テーマ「学校教育のあり方について」

○施設のハード面についての意見

- ・ 地域の人に参加できる仕組み作りが必要。
- ・ 児童生徒の学びにデジタル化の更なる促進。
- ・ 老朽化している教室の改善。
- ・ タブレット活用の充実化。
- ・ 情報伝達がアナログだと伝わりづらい面があるのでデジタル化が必要。また、学校間での統一が望ましい。
- ・ タブレットにアプリの有効活用。
- ・ 教室が不足している学校もあり、地域間のバランスが取れていない。
- ・ 100周年記念で作ったウッドデッキ（老朽化）設置等、現状に合わない。

- ・机や椅子の老朽化、毎日使用しているものだが気がついていない部分も多いのでは？椅子の木目が割れていて、体操着や私服がボロボロになっていた。（高校生の意見）
- ・廃坑跡地の利活用などは、行政側と市民側の思いに相違がある。
- ・小規模の廃校などは地域住民側の意見を聞くと実施するのは難しい。
- ・音楽室などの特別室は狭いと感じていた。

◇プール設備について

- ・南小は老朽化していたと感じていた。
- ・プールは維持管理費が高く、廃止したほうが良い。
- ・小中とプールに入っていて感じていたこととして、プールサイドの老朽化により、ブロックが欠けていて危ないと感じていた。

◇パソコン教室について

- ・タブレット配布はすごいなと思う。那須塩原市は手厚い行政である。

◇その他

- ・小規模校の方が遊具等も多く設備が優れているように感じていた。
- ・学校の施設等はかなり整備が進んでいる。生徒の減少で教室の満タン感も解消され、部活動の環境も問題がなく、エアコンの整備やタブレットの利用など概ね問題がない。
- ・備品に問題が多い。保健室の冷蔵庫の調子が悪い。体育館のマットの数が足りなく安全面に問題。拡声器が壊れている。
- ・コロナ禍で手洗いが義務付けられたことから水道の蛇口がたりなくなった。学校ですぐに対応できないことから、後援会で支援して蛇口の仮設をおこなった。
- ・必要な備品の購入や工事をするときに、早急に対応できる体制を整備してほしい。

○運営体制等のソフト面についての意見

- ・専門的知識を持った民間人の積極的な活用。
- ・先生の仕事範囲が広すぎて細部に目が届かないので、D X等を活用して働き方改革が必要。
- ・通学路等の危険個所の速やかな改善。
- ・読書を推進して道德教育を充実させる。
- ・病児教育の充実。
- ・スクールソーシャルワーカーの処遇を改善し長期雇用が必要。
- ・児童生徒の体験を豊かにするため、学校・家庭以外の居場所づくりが必要。

- ・家庭・地域・学校の密接な連携が必要。
- ・挨拶の励行によりコミュニケーション力の向上が必要。
- ・大田原市との違いを感じる。
- ・学校教育現場の組織体制として、校長が変わると学校全体が変わってしまい、戸惑いを感じる。
- ・学校教育は大切であるが、地域住民との関わり（稲刈りや地域活動等）などの社会教育の充実が必要と感じていて、自分が育った地域ではそのような関わりが多くあり、同級生では地元に残り地域に愛着を持つ仲間が多い。
- ・小中、中高のギャップが激しい。（当時の南小は不登校が多かった）部活、学校の見学などの小中の連携を強化することが必要ではないかと感じている。
- ・変わり目を大切にすることでギャップを解消できるのではないか。
- ・都市部と地方の教育格差について、4人に1人は中学受験をする都市部ではあるが、地方では教員の質が高く、生徒一人ひとりに向き合う先生が多い。しかし、教員への負担も多く、負担を軽減させるために、地域側からの手を差し伸べることが必要なのではないか。
- ・教育現場の実態は、地元の学校で最終学歴を迎えることが多く、組織の慣例的な人事も否めない。
- ・変わり目が重要であり、6年生から中1に上がる時のギャップを取り除く学校側と地域の折り合いが必要である。

◇その他意見

- ・3地区（黒磯、塩原、西那須）を越えた繋がりが必要ではないか？イベント等により交流を深めてほしい。
- ・プリントがすべて白黒であり、画像がある場合はよくわからない。画像はよくわかるようにしてほしい。
- ・コロナ禍で授業参観が15分入れ替え制で中身がわからなかった。インターネットで授業をみられるよう検討してほしい。
- ・連絡でLINEを利用して学校と保護者が連絡できるようにしてほしい。
- ・学校に生理用品を置いてほしい。
- ・学校で性教育をしっかりとやって欲しい。よりよく生きるため、外部講師なども活用して正しい情報を教えてほしい。
- ・ジェンダーについても、人権教育を行ってほしい。

- ・校則が細かすぎる。子供の自立を妨げているのではないか。シンプルに最低限のルールにしてはどうか。現代に合った校則の見直しをしてほしい。

2 班 テーマ「貧困支援について」

○現状の課題についての意見

- ・ひとり親家庭(シングルマザー)だとダブルワーク、トリプルワークにより子どもに接する時間がない。
- ・医者にかかれない、風呂に毎日入れない、生活環境が劣悪。
- ・保護者が病気になると子どもの面倒が見られない。
- ・卒業式に親が着用する服が無いので出席できない。
- ・金銭的に鑑み修学旅行に参加できない。
- ・電車の乗車方法等が解からず社会生活に支障をきたしている。
- ・保護者がギャンブル依存症で教育費がない。
- ・貸与型の奨学金の返済が困難。
- ・フードボックスが適切に活用されていない。
- ・貧困が表面化しづらい。
- ・負の連鎖から脱却できない。
- ・社会から偏見の目で見られる。
- ・親からの愛情が得られない。
- ・里親制度の認知度が低い。
- ・子ども弁当配布を共英小学校で配布を今年の3月から実施開始となり、子ども無料、大人500円。(現在11回目終了)
- ・学校配布にしたのは子どもが自分の力で歩いて来る事ができるからであり、現在120食を提供できるのは、近隣の飲食店(榊原会館)の協力や社会福祉法人(京福会)の協力があるから。
- ・ボランティアで集まった食品を、フードパントリーとして弁当と一緒に配布している。
- ・実際に困難を要する家庭が参加する割合は不明ではあるが、学校側と法人の信頼関係のもと、アウトリーチとして支援を要する家庭に直接届けることもしている。

- ・学校前生徒にチラシを配布することで、支援を要する家庭でない参加もあるかもしれないが、給食のように全体に配布することで、当事者が参加しやすい雰囲気を作ることができている。
- ・朝食の提供として、民間（パンアキモト）の協力を得ながら、学校現場と連携しながら、「おはようカフェ」を実施している。校長室で実施予定だったが、予想以上の児童参加があり現在は被服室を活用し実施。社協黒磯との共催事業となっていて、民生委員など地域ボランティアに声をかけながら進めている。時間的には1時間程度を毎日なので自治会からの協力が頂ければよい。
- ・物資協力などの企業の協力体制が整うことで活動が充実して継続できる。
- ・学校で朝から友達と顔を合わせ教職員も状況を見ることができれば良い。
- ・ワーカーズコープに勤務し、協同労働として自分たちで出資して地域福祉の課題解決をしている。
- ・フードバンク活動を8年経過し、学習支援と、子ども食堂も併設した。（週2回火、金）
- ・支援を要する子どもは自力で来ることができない場合は、送迎ボランティアが必要になり、現在不足している状況。
- ・学校単位で子ども食堂や学習支援などの施設が設置されることが理想である。
- ・財源よりも人的確保が急務の課題である。
- ・食品配布は月に60件ほどの配布をしている。
- ・食品配布会は、毎月第2土曜日13時から15時。食品を配布することだけではなく、生活の自立を促す相談支援を大切に活動している。社会福祉士が相談支援業務を請け負う。

○解決策、要望、希望についての意見

- ・社会からの偏見の解消。
- ・ネグレスト、虐待の早期発見、防止→親に愛情をそそがれて育てば心が豊かになる。
- ・子ども食堂が学校や家庭から子供が一人で徒歩で行ける距離にあれば親の負担が減る。
- ・親が病気等での貧困には企業の理解・協力が必要。
- ・介護サービスの充実、ケアラーへの支援・充実。
- ・学校・地域・企業が連携しての支援体制づくりの充実。
- ・家族との密着が大切なので食材を家庭に届けての一家団欒が必要。

- ・親の就労支援体制の充実。
- ・義務教育終了後の支援体制が必要。
- ・里親と施設との連携を密にして皆で育てる仕組みが大切。
- ・送迎を必要とする子どもに対して、送迎ボランティアが不足しているので募集している。
- ・共英小での取り組みを他地区の学校でも実施したい。
- ・この事業を他の人達によって広めていけるように市や議会に対してお願いしたい。
- ・学習に対しての個人的な格差により先生の支援が2～3時間要することになって入りこともある。
- ・現在、週2回の学習支援、子ども食堂だが頻度を増やしたいと考えている。
- ・送迎のボランティア不足問題については、協同労働の仕組みを利用することで、新たな仕事おこしとして有償ボランティアの活動を作ることも可能である。
- ・フードバンク県北は大田原市の協力のもと社会福祉協議会管理の施設支援を受けており、食品管理に相応しい状況で運営できている。他地区でも参考になるのではないかな。
- ・野菜提供者がいても誰が取りに行くのかが問題。配送会社などの協力があると理想的である。
- ・支援にたどり着いた人、たどり着かない人の格差。
- ・ボランティア募集をしても実際は知り合い頼みになり人の交流がなかなかできない。人材確保が難しい。
- ・社会福祉法人京福会の意識が高く、教育が行き届いており、今後見習って行きたい。広く広報をしてほしい。

3 班 テーマ「空き家の有効活用について」

○空き家の現状についての意見

- ・相続放棄された空き家の所有者が不明。
- ・外観だけでは空き家と判明しない。
- ・那須塩原市の空き家率は国の1.5倍。
- ・高齢者が住んでいて亡くなってそのままになってしまう空き家。

- ・空き家には雑草がはびこってしまい景観が悪くなる。
- ・一軒家だけではなくてアパートもある。特に古いアパートには空き家が多い。
- ・空き家での不審火が怖い。
- ・所有している方が亡くなって別荘がそのまま空き家。
- ・農家の空き家。たまたま農家をやりたいという東京の方に紹介でき、そのまま農家になった。
- ・親のものを子どもが不要だと思いそのまま空き家となるケースが多い。
- ・コロナで職を失ってお金がなくなり、家を失っていくパターンも多いのでは。
- ・まちが活性化していても空き家が一件あるだけで印象が良くない。できるだけない方がいい。
- ・お化け屋敷くらいの空き家が近所にあった。(昔住んでいたところ) ボロボロの空き家は危ない。
- ・近所に空き家があって害虫の発生源や猫の住処になっていた。良くない。
- ・移住定住促進センターに相談があっても物件をうまく紹介できないことが多い。
- ・値段が安いから売らない、家族が固執しているとかいう理由で処分できずにいることがある。
- ・空き家の一番の問題は、防犯・衛生面の問題では。ハチや蛇の住処になって近所で被害が出ることもある。
- ・相続人のいない空き家がある。親戚の方が、ときどき管理しているのか、徐々に荒れ始めている。
- ・台風で被害にあった空き家が放置された状態である。
- ・山間部に近いので猿などが住み着いている。
- ・木造の空き家に猫が住み着いている。
- ・アパートが空き家化して近所の子供が出入りしていて危険。

○空き家の有効活用のためのアイデア

- ・空き家利用するとき、居住支援制度の活用と連携を。
- ・コロナ禍の中、家賃が払えない方に空き家を貸してはどうか。
- ・休日の勉強場所として空き家を利用できないか。
- ・先進事例の紹介。
- ・古民家をリノベーションして分散型ホテルに。
- ・企業が市内の空き家を改修してサテライトオフィス、シェアオフィスに。

- ・ 民間の福祉事業者高齢者の入居時に元の住居を売却・仲介する。
- ・ 動物と泊まれるゲストハウスとして利用する。
- ・ シェアハウスとする、民泊適用して利用する。
- ・ 観光地の別荘を利活用して観光促進をはかる。
- ・ コロナ禍の中、自然豊かなこの地に別荘を持ては。
- ・ 使える空き家と使えない（危険）空き家がある。危険な空き家は行政が対応してほしい。
- ・ 使える空き家はリフォームして市場に流す。
- ・ 廃校の利活用の実績として川西中でLEDを利用したイチゴの栽培、戸田小でレストラン。
- ・ 大田原市の端に住んでいるが、廃校の利活用を。
- ・ 高校生の方も故郷に戻って空き家を利用してほしい。
- ・ 駅前（黒田原）に商店街がある。昔は栄えていたが、今はほとんどお店がない。小学生の頃に空き家でカフェを作った。そこが人気になって、何店舗もお店が増えた。その体験を活かして、那須塩原で高校生向けのカフェをやるつもり。そのカフェは空き家を使ってやりたいと思っている。
- ・ どんなカフェが良いか企画会議をクラス（小学校）で行った。その中で、英語の本を読めるカフェがいいんじゃないか、となった。
- ・ 那須町のお菓子屋さんコラボしてマカロンを作って、宣伝した。ポスターとかを自分たちで作って貼ってもらうように宣伝してまわった。
- ・ 古民家を観光向けにリフォームする。古民家をシェアハウス向けにリフォームする。
- ・ 空き家バンクの登録数をあげるには市役所の持っている情報を活用する。特に課税課、収税課の情報。

◇アパートの活用でいいアイデアはないか。

- ・ アパートの部屋をぶち抜いてお店にしちゃうというのはどうでしょう。古いアパートは家賃が安いので、そこもインセンティブになる。
- ・ 同年代の人たちが集まるアパート。
- ・ 廃校利用でカフェを作ったり卓球ができるようにしている。古いアパートもそんな風に気軽に人が集まれるようなスペースにしてみてもは。
- ・ 移住定住のために活用すべき。例えば店舗として開業させてはどうか。
- ・ 改修して地域の居場所づくりに活用しては。
- ・ 市で一括管理できるシステムを創り空き家に住まわせ、例えば月に5万円

の家賃で20年間住めば、そこを無償譲渡すれば良いのでは。

- ・リフォームして市外の人たちや外国人の民宿としては。(移住定住につながる)
- ・廃校になった小学校を(うどん作り等)体験学習の場に活用してはどうか。
- ・歴史的な建物を活用してカフェ等を開いてはどうか。(大山別邸など)
- ・リモートワーク、テレワークで会社や事業者に低資金で貸し出す。
- ・持ち主が持て余していることもあるので仲介してあげる窓口が必要。
- ・空き家は地域との交流の場にする。
- ・市で持ち主の情報を詳細に把握しておく必要がある。

○空き家の有効活用のために行政に期待すること

- ・この地域に住みたい方が多い、需要はある。(別荘兼定住)
- ・塩原の廃ホテル・旅館をY o u T u b e rがアップし情報提供する。
- ・空き家の現状を幅広く市民に知らせてほしい。
- ・空き家バンク登録が4件のみに驚いた。
- ・自治会長をとおして修繕し使える物を紹介してもらう。
- ・空き家の周りが草ぼうぼうで火災が怖い。
- ・空き家の店舗・アパートを調査・把握してほしい。
- ・2021.10~2022.2 ゼンリンで調査中、実態を把握し、情報公開する。
- ・空き家バンクがあると思うが、登録数が少ない。賃貸物件が増えると良いと思う。移住を希望する人はよく空き家バンクを見ている。
- ・空き家を行政がいち早く把握することが必要。
- ・若い子に向けて空き家の説明・宣伝をしてほしい。
- ・知ってもらうことが必要だと思うし、お金の支援(新築・解体)も必要だと思います。
- ・空き家が問題であるという事を問題だと所有者が認識していないこともあると思う。そういった方に、問題だと認識してもらうように働きかけることが必要。
- ・空き家の周りの道路がボロボロ。道路がボロボロだから空き家になるということも考えられるのでは。
- ・空き家を移住定住のお試しの家に整備してみてもは。
- ・空き家をすぐにリノベーションできるような条例があれば良いのでは。

- ・国のセーフティネット法の活用により居住支援してはどうか。
- ・空き家の状況の見える化を図って欲しい。
- ・若者の『空き家が問題』との意識が低いので情報を流して欲しい。
- ・暗くて怖いを作り直す等の支援、環境整備を期待する。
- ・空き家の把握をして情報を開示して欲しい。
- ・学校の授業の一環として年一回、クラス毎で掃除など整備体験をして、意識づけや経験とし、合わせて修繕作業をして活用につなげる事はできないか。

3 班 テーマ「農業の担い手を育成・増加するためには」

- 農業の担い手確保、育成するための課題・問題、改善点、アイデア。
- ・農業に魅力がない。金銭的なもの。
- ・農業に魅力を感じる。サラリーマンから就農したが、収入面で上がって生活が安定した。
- ・新鮮な野菜などが手に入る。生乳生産本州一など社会経済的な那須塩原市の強みを積極的に発信してはどうか。
- ・農業は一人では、出来ない。機械を融通してくれたり、相談に乗ってくれたり農業仲間が大変ありがたい。与えてもらうだけでなく与えることなど信頼関係を作ることが大変重要である。
- ・農福連携をしているがシイタケ栽培などは身障者が出来るが畑仕事などは難しい。
- ・農業のイメージは重労働。
- ・おばあちゃんのところがコメ農家で良いイメージを持っている。(高校生)
- ・農業に対するイメージを良くする。農業はやり方次第で楽しくなる。若い人に期待する。
- ・農業は重労働、省力化やスマート農業を進める。また、土手や水路等の基盤強化が必要である。補助金を出してほしい。
- ・農地の確保は、非常にハードルが高い。資金など支援が必要である。
- ・農業を楽しむ。農業のイベント、農業ゲーム。
- ・中山間地域農業を守るためスポーツアクティビティーのトレイルランニングやマウンテンバイクを実施した。中山間地域に人を呼び込み獣害対策や農業

をやりたい人を集めるため実施した。NHKの取材などもあり地域の活性化になった。

- ・耕作放棄地(遊休農地)を解消していく必要がある。
- ・改善策として例えば蕎麦の栽培、菜の花で菜種油などの事業を起こしてはどうか。
- ・酪農の実情を広く発信していく。(体験学習なども開催して発信)
- ・経営所得が低く兼業せざるを得ない。
- ・コメの消費拡大の一環として(米粉パン、バーガーなど)活用してみてもどうか
- ・米価が安いことが問題、活用して収益をあげる場を作る。例えば病院や医療施設などに納入し消費拡大を図る。
- ・酪農経営、年々農地が減少。また、臭いや粉塵などで近隣の住民と軋轢が出て来ている。
- ・農業に興味を持ってもらうために広報などで理解促進を図る情報発信を工夫していく。(こまめに内容をあげる、様々な視点から)
- ・就農者を引き付ける農業。農業の環境が整っていない。
- ・農業の魅力の配信。魅力度アップをはかる。
- ・安定した農業。農業法人化。(会社組織)
- ・耕種農家安定的収入の確保。
- ・技術の高さ教えていただける方が必要。金銭面での補助。
- ・新規農業者の確保については、農業の魅力を感じられない、発信力が課題。
- ・那須塩原においては農業者が減っているのが現状。
- ・酪農の ICT、IoT の取組、スマート農業、農業格差の改善。
- ・農家の法人・グループ化が必要。会社組織や地域での集団化をする。
- ・魅力についてユーチューブ等 SNS でアピールする。
- ・安定した収入のための情報の交換会などの開催。
- ・農業は大変、儲からないというイメージ。
- ・農業の働き方の改革が必要。農業＝重労働の改善。
- ・農業のイメージ以前は汚い、危険、キツイ(3K)。
- ・農業は職業として敬遠されがち。このイメージを子供の頃から楽しい体験させる場所が必要だと思う。
- ・農業の大切さ、循環型農業の PR をして欲しい。
- ・酪農の規模を面積に応じた飼育頭数にして糞尿や汚水な対策を今後のためにつくるべき。酪農の街として基準づくり出す視点も必要。
- ・所得向上、やればやるほどお金になる。

- ・やる気があれば稼げる。3倍4倍稼げる。
- ・仕事に拘束されている感じがする。
- ・勤務時間が決まっている方が良い。(サラリーマン化)
- ・農業の魅力の発信。グリーンツーリズム。
- ・休日のあり方についての検討や、契約販売、販路の拡大をして安定収入。
- ・新規就農。経験者に指導をもとめられる環境整備。
- ・温暖化による環境の変化を自分で解析。
- ・様々なシュミレーションを行い、農業経験者から情報を得ている。
- ・お米づくりをしたい・お米のPR方法 米粉パンづくりはどうか。
- ・普通科高校、工業高校、現場の声を聴きたい。

○その他（自由意見）

◇栃木県の園芸農業の低さについて

- ・園芸農業の機械化が進んでいない。パートなどの人件確保が難しい。
- ・園芸農業は高収益であるがマンパワーでは、50アールが限界。コメは楽に作れる。
- ・農地に石が多い園芸農業には向いていない。
- ・ハウスなど初期投資に金がかかる。
- ・土地が広いので園芸に手が回らない。

◇市に期待すること

- ・自動ソーター、RTKを入れてほしい。
- ・石取りにストーンクラッシャーを導入してほしい。
- ・新規就農に補助金を拡充してほしい。親からの後継に補助が無い。補助金を考えてほしい。
- ・女性の立場から家族が仲良く農業が出来るよう規約などの作ってほしい。
- ・循環型農業に向かっている。(循環型農業の推進)
- ・農業の危機だから小中学校との繋がり体験学習の場を作る。
- ・生産者の苦勞を知る。情報発信、体験学習、魅力発信など人材育成(学校の授業など)
- ・多様な担い手を確保。
- ・収益をあげる取り組み。(販売の場、学ぶ場、支える場を充実、創設する)
- ・多様な経営体を支える施策をつくる。

- ・農業の団地化(集積)多様な作物を共同してつくる事により共同でささえる。例えば機械の購入などでコスト削減を図る、また、地域別の実情に合わせた農業を確立するべき。
- ・市内で生産物などを使った経済循環できる取り組みをつくる必要がある。
- ・那須塩原市だからできる循環型農業モデルをつくり上げる。
- ・農務畜産課 Facebook のチェック参考になる。
- ・新規就農支援のフットワークが悪い。制度の緩和が必要。
- ・機械が高額である。農業機械の試乗会や実演会をやる。
- ・年 3～4 回オペレーターの機械化で効率化。
- ・Twitter Facebook 情報の新メディアをどうするか。
- ・地域に馴染めない。農地の確保。スタートアップの矛盾。
- ・わかりやすい農業。
- ・新規農業者のマニュアル。講演会、農業の派遣会社など。

3 考察

今回の議会報告会及び意見交換会“なしおふれあいトーク”は、新型コロナウイルス感染症対策として、議会報告は YouTube での動画配信、意見交換は Web 会議システム Zoom を活用し、3 常任委員会 2 回ずつ、合計 6 回実施した。

また、前回と同様 Zoom を使用したオンライン開催であり、Zoom の操作がわからないために意見交換に参加できない市民もいることから、研究テーマに沿った内容のアンケートも作成し、広く意見を聴取した。結果は、意見交換会に 97 名の参加、研究テーマに沿ったアンケートは 55 名から回答をいただいた。

市民への周知については、研究テーマに関連する各種団体に直接連絡をして参加を促すとともに、一般参加者向けには、市議会ホームページや本市のメール配信サービス、Facebook 等、SNS などを使って周知をした。今回はチラシを作成して回覧板での配布ではなく、意見交換会 CM 動画を作成し YouTube で配信をした。意見交換会 CM 動画再生回数は、576 回と思っていたより再生回数は伸びたと感じている。しかしながら、参加者数については、各種団体の方々に直接連絡をして参加を促したことが 97 名の参加につながったと考える。

意見交換においては、市長をはじめ執行部への具体的な政策提言、あるいは予算要望につなげることを目的に 3 常任委員会で研究内容に沿った形で意見交換を実施した。9 割の参加者からは、「とても有意義だった」との回答が得られた。また、Zoom を活用したことについては、8 割の参加者から「分かりやすかった」との回答が得られた。

今回の意見交換で得られた意見・要望等については、3 常任委員会で各種研究テーマの政策提言などに活用していただきたい。

今回においても、コロナ禍であったが議会活動を市民に説明する責務を果たし、充実した意見交換が開催できた。関係各位に感謝を申し上げて考察とする。

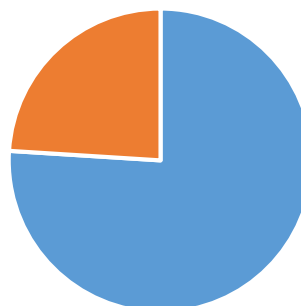
4 資料

アンケート結果

○Zoom のアンケート機能を使用して実施

問1 お住まい

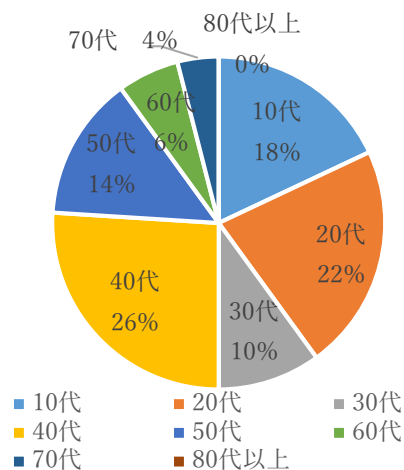
市内	38
市外	12



■ 市内 ■ 市外

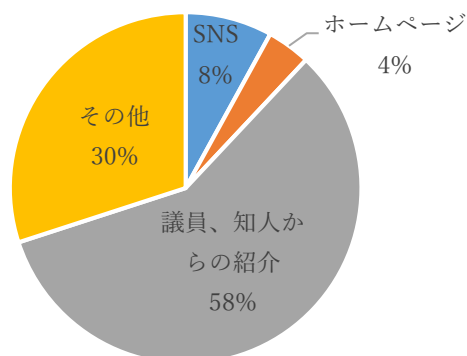
問2 年齢

10代	9
20代	11
30代	5
40代	13
50代	7
60代	3
70代	2
80代以上	0



問3 議会フォーラムは何でお知りになりましたか

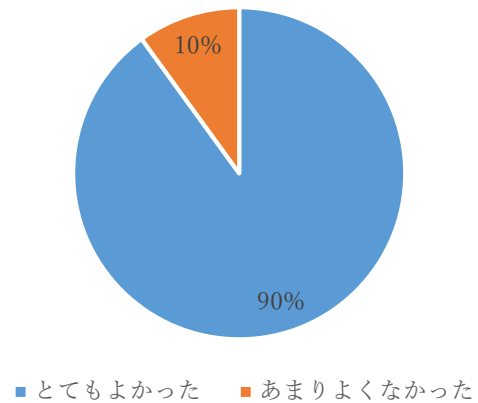
SNS	4
ホームページ	2
議員、知人からの紹介	29
その他	15



■ SNS ■ ホームページ ■ 議員、知人からの紹介 ■ その他

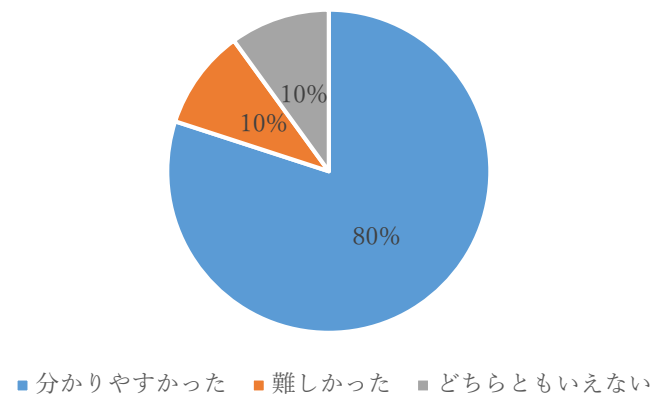
問4 今回の議会フォーラムについてお尋ねします。

とても有意義だった	4 5
あまりよくなかった	5



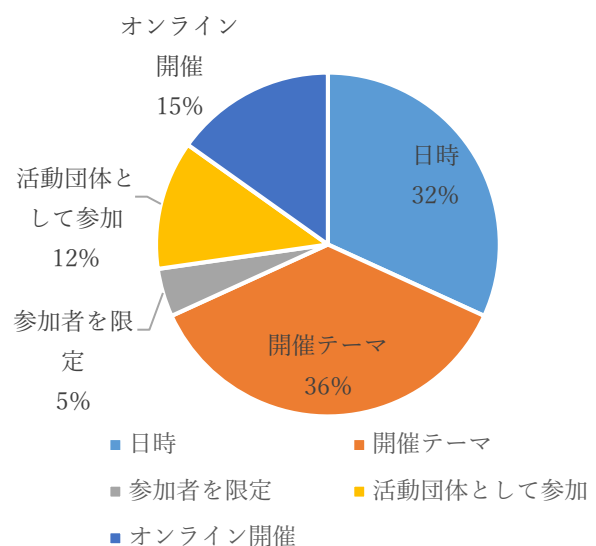
問5 Zoomを使用したことについて

分かりやすかった	4 0
難しかった	5
どちらともいえない	5



問6 今後も議会フォーラムや意見交換会に参加する条件についてお尋ねします。(複数回答)

日時	2 1
開催テーマ	2 4
参加者を限定	3
活動団体として参加	8
オンライン開催	1 0



記録写真

